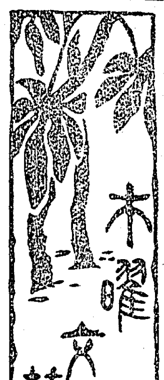
夕刊 磐城新聞
七月十八日發行
（日曜祭日翌日休刊）




## 備前長光三首

久滿夫

○うち粉してぬぐひかくれば 燒太刀の 備前長光 つめたく光る
○うち振らうこの燒太刀のそりのよさ 大きたくみのわざの よろしも
○長光の これの太刀佩きますらをは あたまふりつゝ みち往きにけむ

柿の花一首

○柿の花 名殘こひしき 朝つちに こゝだ降り落つと 人の告げ來し

## 秋間君の印象
…その作品を通じて…

吉田儁

秋間君が逝かれたのは、昭和九年十月八日である。同じ社友であり乍ら、餘り深かからぬ交遊であつた上、秋間君は種々な會合の席でも、遠慮さうに人知れず咲いた花であつたので、會合に於ける秋間君の思ひ出といふものは極めて薄い

然しひと度歌人としてうつて出るとき、秋間君の痩せた身体のどこから噴き出すのか、素晴らしい創作力が生み出す太い逞しい線の歌をたゝきつける

一日の計算事務に疲れたる腦に響く大金庫の音

靑空に五反幟の大鐘馗あふられてゐる五月の節句

斯くて潮音入社第一回から異彩を放ち、峯村先生をして『社友としてはあまり短かい謂はゞ彗星のやうな存在であつたが遺された歌によつてこの道に寄する心はすでに深いものがあつたと思はれるのに惜しいことであつた』と惜しませてゐる

太田先生の來平のときは大いに奮闘され、他日の潮音支部にと大きな礎石を築かれ、その後歌會あれば必ず出席され美事な歌をものされ、殊に常磐亭に於ける

青龍の首をもたげて狹霧なる辯天沼の寒き噴水

など巧みな即詠であつた

太田先生來平二週間前の日曜、太田先生歡迎歌會の準備と打合せの為小山田先生の宅に秋間君と私と田中君と三人でまゐり、打合せ終へた席上で、呑まない秋間君が呑んで赤く醉つた私達に、手さへ足さへ柔かくひらりひらりと、身振りも輕くおけさ踊りを踊るので私達三人もつりこまれ立上つて踊らうとしたがだめであつた。今思ふと長身ではないがスラリとした秋間君の体がおけさ踊りを踊るのに適當な型であり、おけさの底に流るゝ、あの何をか呼ぶが如き嫋々たる哀調があのやうに板につく踊りを踊らしたのだと私は思ふ。

その後逢つたのは、黒い板塀にコスモスの花がひらついて淋しい家に、再び起つことのない床に就いてゐた時であつた。腹の上に鼠色の毛布をかけ、細い痩せた細い足を白いシーツの上に投げ出して

仰ぎ見る我目の上の天井に一つの蠅の動くともせぬ（潮音特選歌）

さういふ姿で寢まれてゐる

とまである。歌の話、社友の話、病の話に觸れまいとして觸れると『死ぬばかりですよ』と尖つた頬の中、落ち込んだ眼がしばたゝき心ばかり笑を漂はせて云つた、心のせいか淋しいひゞきが絡みついて、私の心をその時暗くした

然し死ぬばかりと云つてる

大いなる奇蹟願へる四年の闘病の果てに石油を飲む

と闘病し

病みてあればうら悲しもよしし方の諦めしことも思ひ出でつゝ

拂へ共執念深くくらひつく蚊の羽唸しつゝ旋回しきたる

と苦悶された事と思遣れば若いが故に悲しい

その後私は逢はない。昭和八年の七、八、九、十、十一、十二月と、とんで九年五月と潮音に歌を精進しその甲斐あつて四回特選となり第二特選一回といふ榮冠を贏ちとつてゐる

三十年の短かい生涯を、短歌に最後的燃焼を傾けて消ゆ入る灯のやうに歸らぬ旅に赴いた

## 雀の卵

アキレス腱を切斷して入院加療中の新妻久滿夫氏、手がけた選手達が見舞ひに訪ねくる毎に、戰術あの手この手を言ひ聞かせて激勵する様子は、傍の見る眼も涙ぐましいものであるが、選手達が歸つたあとはホッとした面持ちで『何しろ五ケ年計畫の滿願達成近づけりだよ』と意氣軒昂

## 〇現代人のための短歌のつくり方

石榑茂

著者は歌人石榑千亦氏の息で今は同じく『心の花』の同人であるが、昭和六年プロレタリヤ短歌陣營から逃避して喧々囂々の批難を浴びながら洋行、この著は歸朝後大阪BK放送局より短歌講座として本年三月十八日から廿九日まで放送した講義内容である。著者自身が短歌の道に惨々苦勞してゐるだけに、巷間のこの種『作り方』本には比し得ない深みがあつて、初心の人には勿論、寧ろ相當經驗をつんだ人たちにも一讀を推薦しておかない。我々もかういふ書物によつて、もう一度短歌そのものを見直す必要がないであらうか。卷末には質問券も附されて著者の深切な心づかひは有難い（三省堂發行定價八十錢）

受贈新刊
〇現代人のための短歌のつくり方

## その日

〇
平署のダニ狩り、愈々腰をすゑて始めたが、舊知の名が見えるのは一抹の寂しさだ。

## 斷層
うるさき事ども一二三

〇蚊ほどうるさきものはなしと歌はれたれど、江戸の昔はブンブとなきたるを、このごろはブブとのみしか言はず。薮鶯の片言ばかりなるは、これぞ言論の自由なし、とは世の物識りのしたり顔に說くなりけり

〇うるさきものゝかずかず、まづは夏の夜の夕凉みに若者の進軍ラッパ吹けるくだらぬ愛國熱なり。己れのなりはひにいそしみ、さては今宵を安らかに樂しみて明日の思ひをめぐらすをこそ、大和心なるものと知れ。戶開け放ちてラヂオの聲高に鳴りひゞかせたる、その家の主の心ばえ卑しく聞ゆ。ラヂオ屋の道の眞ん中に大ラッパ突き出して喚き立つるは殊に

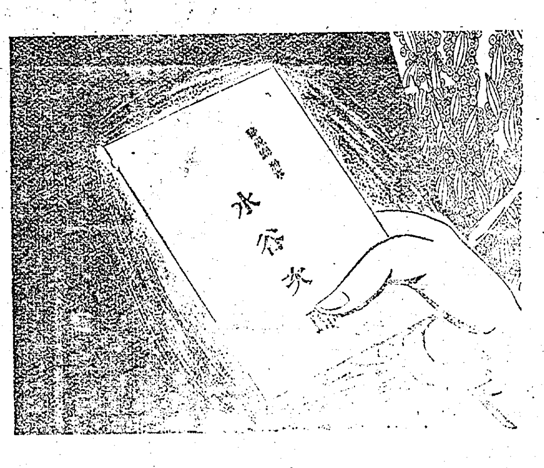
〇近ごろ出現したる乘合嬢の甲高い聲張りあげての『ありがたうございます』も己は嫌ひなり。少しも有り難からず。下司好みの商賈根性に、長屋の嬶アどもは奥様と呼ばるゝがうれしく思ふあれば、これもまた御時勢なるか。いや、この何事も御時勢御時勢でとほすが惡ろきなり。ちつとばかりは意氣ごんで頭をもたげて見るべし（夢人）

## 小説 誰が殺したか

(73) 今野賢三作 龍造寺勝畫

第二の殺人（四十三）

咲山がおそくおきて、浮



ぬ顔をして書齋で新聞を見てゐるところへ、水谷刑事が訪ねてきた

咲山は、名刺を見て眉をひそめたが、會はないわけにはゆかないので、應接間に案内さした

『僕は咲山です』

『左様ですか、私は水谷ですお早くからお邪魔いたしまして』

『いや……』

『ア、それから、課長からよろしく申しました』

『さうですか、ありがたう：そしてご用は……？』

『サア用と言つても、あらたまつたことでもないですが、實は課長から峰山の令嬢の死體の研究は、その後どうなつてゐるか、くわしくおうかがひするやうに申されましたので……』

『はゝアなるほど、さうですか、困つたことには、あれから思ふやうに進行して居りませんので』

『それでは、全然、お見込みがなくなつたわけでないのですか、どうでせう？』

『いや、見込がないといふわけではないが……なにしろ、どうも、あの死因を發見するのは、容易なことではありませんので』

『ごもつともです。それではもうお見込みがないといふわけですな？』

水谷刑事は、なぜかこの言葉の尻に力をいれた

『サア、マア、そんなものですね……』

咲山は、うかうかと何氣なくかう言つてしまつた

『お見込がなければ、放棄なすつたがいゝぢやありませんか』

水谷刑事の眼は、探るやうにピカリとひかつた

『放棄……さう簡單にも出來ませんね』

咲山は、いくらかごまかすやうに、出來るだけ平然と努めながらいひつくろつた

『貴方は學者だから、當然のことかも知れませんが、さうして九分どうりお見込のないものに、執着してゐられるのは、私たちから考へると不思議に思はれますね、ずいぶんご執着のやうですが……？』

また、水谷の眼がひやゝかにピカリと光つた

咲山の顔は蒼ざめて、或るかすかな狼狽をみせた。いさゝか驚きの眼をもつて水谷刑事の顔を見た

水谷刑事は、冷笑するやうに眼で笑つてゐた

『學者は、たとへその研究は絶望となつても、なほその研究を棄てまいとするのが、すなはち學者的良心ですからね！』

咲山は今度は强くいひ切つた

『ごもつともです。しかし私たちのやうに、學者的な良心なんていふものゝ、わからないものにはご執着があだしすぎるやうに思はれるものですから……』

また、水谷刑事はくすぐつたいやうな事を言つて、ジロリと咲山の顔を見た

そこへ、澤子が訪ねてきたことを、女中が取次いだ


廣告

前田醫院
院長 前田清美
植田町電話一二四

磐城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前
平屋賣店

貸切の御用命は是非〜
電話二一七番へ
親切叮嚀、流線形
安全第一、最優良車設備
サーヴイスモットー
貨物一般
平町四丁目
鈴木自動車部

謹告
生ビール黨の御客様へ
御蔭を以つて賣出し以來連夜賣切の盛況を厚く御禮申上げます。
就ては今後毎週『金曜日』をキリン黑ビールデーとし樽詰黑生を奉仕いたします。
七月十七日
平會館
電六二四番

七月の傑作盤
無情の夢
船頭可愛や
平盆踊
其外流行歌、浪花節色々あります
金光堂時計店
電話一九五

暑中の御贈答に!! 御宴席に!!
納凉に!!
是非ペチーアイス
小型花氷を!!!
ペチーアイス券御利用下さい。三回券（美術花氷臺一個付）金壹圓參拾錢

氷は平製氷へ
電話二二八〇・三一六番
…配達迅速…
小型氷柱（一本五十錢 長サ一尺二寸 六時間保チマス）
美術花氷臺一個十錢 何回でも使用可能

オキシヘーラー
適應症
盲腸炎、腹膜炎、肺炎、中耳炎、乳腺炎、膽石、胃腸病、ルイレキ、カリイス、骨膜炎、脊髓病、ヒョウソ、カクマク、ソコヒ、蓄膿症、關節炎、リウマチ、神經痛、高血壓、心臟病、腎臟病、肝臟病、ゼンソク、膀胱病、婦人病、皮膚病、打撲傷、其他
東洋醫法振興會福島支部
平療院
福島縣石城郡平町田町
三二三屋肉店前

友部は皆々樣の株式店です。
株式ハ一株ヨリ
債券ハ一枚ヨリ
御下命を願ひます
株式公債現物賣買
平・三丁目
友部株式店
電話一七七

夜間診療
胃腸性病
內科 胃腸病科
花柳病科 性病科 皮膚科
專門
松村胃腸性病科醫院
（平町南町電一〇七番）
（見習看護婦募集）

耳鼻咽喉科專門
平町田町（電六九一）
病室完備
自炊ノ便アリ
醫學士 山内亨吉
山内醫院

ヒノ◎マル
凍魚
國は日本。凍魚はヒノマル
日本水産一手特約
發賣元
株式會社平製氷
電話二二八・三一六番
平町代理店
ト印魚問屋
電話五二八番
鯛。海老。白魚。イカ
刺身魚、煮魚、各種品々一個一尾ニテモ迅速配達……

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日本齒科醫學士 西川誠
平町田町（松月堂向ヒ）電話五〇九番

（入院隨意）
整形外科
X光線科
專門
醫學士 大河内一郎
大河内醫院
平町揺柳小路四（電話二八八番）

骨脱打捻
折臼撲挫
小兒骨折
專門
柔道整復師 大河内寅雄
大河内整骨院
（自炊自由）

# 弱かったが感度は急激
## 小名濱測候所の數字から觀た
## 今早曉の地震

夏の夜の明けやすき今曉三時近く、俄然搖れ出した餘の跳躍は、いつかはた鉢の廻つて來るであらう事を懸念してゐる地方人を少からず驚かした例によつて針が飛んで了つて正確な震幅などは判るまい——とは想ひ乍らも小名濱測候所に聞いて見る

初期微動二時五十六分十五秒、震度は弱震の弱性質稍々急、震動時間四分二十八秒、震幅北へ四九二ミクロン（千ミクロンが約一ミリメートル）西へ三六六ミクロン、震源地は小名濱より九十四キロ茨城縣南西とあつて地震としては其れ程大したものではなかつた

# 子鍬倉社前に 選擧肅正委員宣誓式
## 平町六十名の顔ぶれ

平町選擧肅正委員左記の町議外六十名は近く縣社子鍬倉神社で公正を期し宣誓式を擧行する

小野伊佐治 松崎長太郎 荻原義雄 會川延太郎 花澤久一郎 佐々木龍若 堀喜一 川崎文治 關內正一 井上茂作 根本品藏 多田井笑次郎 馬目雅治 馬目武之助 吉田寅之助 猪狩觀德 吉田金作 荒川淺次郎 佐藤幸太郎 野崎瀬藏 小松茂 坂本隆藏 吉村安次郎 鈴木光吉 吉田五平 綠川喜三郎（以上町議） 山崎清三 諸橋久太郎 矢野泰次郎 大嶺庫 大森勇 阿部政右エ門 猪狩庄平 櫛田榮太郎 草野七五三之助 堀江正茂 木澤常松 山崎孝之助 青木秀次 岡田千藏 小野金太郎 鍋田三重 篠山廉 赤津千里 小檜山久作 正木貞次郎 柴田鶴作 山部正勇 遠藤心光 鈴木長三郎 岡田政次郎 小野園次郎 水野虎三郎 鈴木留助 酒井國三郎 新田目善次郎 山野邊義政 武田清次郎 藤田榮助 小林光盛

## 縣議選擧名簿公開

平町では既報の如く明後二十日から十五日間毎日午前八時から午後四時迄縣會議員選擧人名簿の縱覽を許可する

# 果して何校ぞ? 中等野球の爭覇
## 愈々廿二日に迫る

縣下中等校野球大會は愈々來る二十二日午前七時の入場式に引續き福島市營グラウンド第三球場で行はれるが二十五日午後の決勝戰迄は晴れの甲子園入りを夢見る若人が母校の榮譽を鐵腕に賭ける熱と意氣の連續線である、昨年東北大會に進み縣大會決勝に於けると同じ敵手福師を向ふに廻して惜しくも敗れた平商は！新進平商に無殘打ちのめされ猶氣精進の磐中は！今日迄の兩軍練習試合は三勝一敗の成績で勝は磐中にあるが平商は昨年の惰力と新進好投の橋本投手を有するので本試合に臨んで意外の強みを見すべく、打擊に重點を置いた今年の磐中亦優勝を目指して練習に邁進し練習試合に於ても右の如き成績を見せ一騎當千五ヶ年計畫第一年の意氣は有望視されゐる兩軍のメンバー左の如く、磐中は昨年出場の選手七名平商は二名を殘してゐる（括弧內は學年）

| | 平商 | | 磐中 | |
|---|---|---|---|---|
| (五) | 石川 | (三) | 橋本 | 投 |
| (五) | 佐藤 | (四) | 曾宮 | 捕 |
| (五) | 柳澤 | (五) | 西脇 | 一 |
| (四) | 秋山 | (五) | 佐良 | 二 |
| (四) | 長瀬 | (五) | 內海 | 三 |
| (五) | 上坂 | (五) | 森下 | 遊 |
| (五) | 草野 | (四) | 佐寬 | 左 |
| (五) | 阿部 | (四) | 鈴木 | 中 |
| (三) | 矢代 | (五) | 舟生 | 右 |

# 教員野球決勝
## 平第一對內郷高坂

體育協會石城支部の郡下教員野球大會決勝戰平第一對內郷高坂戰は來る二十三日午後二時より平第一校庭に續行する

# 廢川敷無償交付
## 六町五反十一歩を 新古兩川水害豫防組合へ

平町では新川並に古川兩川の屆曲其他改修により六町五反十一歩の廢川敷が生じたので過般其筋にこれが無償交付を出願したが愈々許可の前提として今十八日から平稅務署に於て實地踏査を開始、近く該兩川水害豫防組合員に分配交付される事になつたと

## 夏井川改修記念碑竣功

夏井川改修事務所では既往七年以降九年迄に至る工程其他を刻んだ工事竣功記念碑（高さ十二尺、巾四尺）を鎌田町地內同川沿岸に建立中であつたが此程愈々落成したので來る二十一日關係者列席の上除幕式を擧行する

# 家の光り維持協議

産業雜誌『家の光』の購讀部數は去る十二月末現在調査によつても內郷信購組合の六二八部を筆頭に四千三百五十部（一組各平均一七四部）で愈々增加を示してゐるが産業組合中央會福島支會ではこれが普及維持其他に關し『家の光聯讀組合主任者協議會』を明十九日平町石城郡部會事務所樓上に郡內關係者を集めて開催するが協議事項は

一、家の光讀者教育訓練に關する件
二、家の光實價統一に關する件
三、各種家の光事務打合に關する件
四、中央會指導事項に關する件

で尙は右協議會終了後引續き『家の光靑年團幹部懇談會』を開き家の光靑年會活動促進に關する件並に情況報告等につき懇談をなす

# 落馬の大怪我人
## 入院と手當の效無く 昨十七日絕命

去る八日朝突然飛び出した犬に驚いた馬から振り落され脊髓骨折の重傷を負つた豐間村薄磯農政井武雄(三八)は平町安齋病院に入院加療中胸部邊から漸次感覺を生じ家人も愁眉を開いてゐたが昨十七日午後から容体惡化三時遂に絕命した

◦◦◦◦◦平署土用稽古 平署では明後二十日から今月末迄每日午後三時から五時迄柔劍道の土用稽古を行ふが一般の參加も歡迎すると

# 尊き体驗を得よと 求職兒に呼び掛く
## 紹介所から連絡校へ通知

小學卒業兒の就職斡旋に大童の平職業紹介所では既報の如く來月の夏休を利用し五日から十日迄管內高等卒業男兒の盆前中就職希望者をして町內主要商店に住み込ませ實際的職業を体得せしめるこれによつて得た体驗談を蒐めて今後の參考資料にする事になり今十八日連絡小學校に通知した、雇入主は今月末迄申込まれたいと

# 玉葱多收穫
## 縣下一の新記錄か 齊藤場長喜ぶ

神谷村農試分場では此程玉葱の收穫を行つた處反當り千百二十貫、普通なら七百貫乃至八百貫で恐らく縣下一の好績であらうと齊藤場長も大滿悅

◦◦◦◦◦小麥菜種共販 石城販聯では來る二十五日第一回の小麥、菜種の共販を行ふ

# 惡の種を斷つ意氣で 更に新顔二名を檢擧
## 平署のダニ狩り依然峻嚴

昨十八日早朝第二次暴力團狩りに着手した平署では同夜平町新川町三二無職藤太一(三八)並に白銀町酒井良吉(三二)の兩名を檢擧した

## 正直者を泣かす 代表的の惡三百
### 憎むべき酒井の吸血振り

酒井は前科一犯、惡三百の代表的男で昨年來高利貸をやる資金として出鱈目の保證人に僞印鑑を捺し、南町井坂辰之助外十餘名より利息は元金の二倍、三倍になるボロイ儲け口だと言葉巧みに僞して二十圓乃至二百圓を一口として前後數十回に亘り約一萬餘圓を借り受け目下平署で取調中の分さへ五千餘圓に上つてゐる

その內氣の毒なものは一丁目居住の老アンマ比佐キンが小金あるに目をつけて言葉巧みに約三百圓を捲き上げ、又飯野村北白土の某桶屋さんは粒々辛苦の結果千餘圓を丸ぐみしぼられ現在ではその日暮しにも事欠く氣の毒さで其他此種の被害も相當の數に上つてゐる

更に同人は先年『一錢貯金會』を組織しての惡事もあるらしいので目下追究中であると

## 取押への警官に抵抗

香具師の親分藤太一は平町香具師の大親分で檢事局の逮捕狀さへ出てゐる曰く付きの男、昨夜七丁目の別當神社祭典に行つてゐる中折柄逮捕に向つた同署管家巡査に抵抗し頑强に同行を拒んで騷ぎ立てるので折からの祭典人出にヤジ馬も加はり大騷ぎを演じ渡邊部長一行の應援で漸く引致された

# 獵銃で自殺
## 病弱を悲觀し きのふ三阪の慘劇

昨十八日午前十一時頃三阪村大字上三坂字水田農渡邊熊之助(五二)方から轟然たる銃聲が聞えたので附近民が馳せつけて見ると熊之助が獵銃で喉笛を打ちぬき紅に染つて絕命してゐるので吃驚屆け出により平署で檢視の結果同人は數年來心臟病を患つてゐたが昨年來病勢募りすきな狩獵にも出られず悶々の日を送つてゐた處からこれを悲觀しての覺悟の自殺らしい

## 艷罪黑白

◇何處から見ても痛快な名文章の起草者などとは受取れぬ程ゆるやかな輪廓に穩德圓滿の相貌を備へてゐる久本の久松◇古代美術に造詣深いオーさんから『印度の壁畫そつくりだ』と褒めたんだかクサしたんだか一寸得体のわからぬ事を云はれてあの涼しい目をパチクリ◇そこでオーさん註釋。彼れ一流とも云ふべき少しくムクツレ氣味な丹朱のくちびるを見給へ、巨匠の手になつた壁畫の佛像に於けるそれと寸分違はない、あゝ有り難い有難い。だと◇身の丈けばかりでなく、色んな評判から其名迄高づくしの高助。先ごろから煩惱を布いて暫く在りかをカムフラジして居たが◇此程矢張り開花から再出現。名前も同じ高助『玉代は高助とはかり限らないわ』だつて涙げえ〳〵

# 市制調査 視察報告書 （三）
## 警備衛生部委員

火葬場の隣に市營の墓地がある。總面積六千七百〇六坪で昭和三年に起工して昭和九年三月完成したものである

萬靈塔と稱する無線塔は三千五百圓かけて造つたものだ。勿体ない程立派なもので、この世で惠まれない人々の爲めには最善の贈物であると思はれた

淺井組頭に案內されて片倉製糸を見學した

痒い所に手がとゞく樣な親切な持てなし振りであつた。この上の御親切はこちらから遠慮す可きものであつたかも知れぬが、親切に醉つたとでも云ふのか、片倉製糸と淺井組頭のお好意に甘へて、日本八景の一つである日本ラインを下る事にした。實に一步を進むれば一奇を增し、一觴を搖せば一象を變じ、刻一刻と展開し來る巨岩斷崖應接に遑なかつた

犬山城の天主閣や夕暮富士の絕景が忽然として眼前に現はれた時は、たゞたゞ醉ふた樣な氣持になつた。颯々乎として世を遺し獨立羽化して登仙するが如しと歌つた蘇東坡の心境を、その儘そつくり味ふ事が出來た。淺井組頭に別れを告げて名古屋行の電車に乘つた

電車の中で、五臟六腑悉く親切な人とは淺井組頭の如き人のことを云ふのだらうと語り合つて、淺井組頭に心から感謝した

第五日（日）晴

名古屋發午後九時四十五分發の上り列車で東京に向つた

十二日午前五時五十分東京驛着、直ちに上野驛に出て山下舘で朝食を濟した

五日に亘る視察の旅、しかも超スピードで驅け廻つた一行は心身共に疲れ切つて仕舞つたが、東京に入るともう國に歸つた樣な感じがして急に元氣づいた

同九時半秋葉原驛から省線電車で市川市にむかつて出發

車窓にうつる新大東京の異狀なる進展振りは只たゞ驚きの目を見張つた

市川驛から徒步で市役所を訪問する、約一里の道は折柄の暑熱がアスファルトの鋪裝道路に反射して耐熱行軍のやうだ

十一時役場着、日曜日に拘らず主事吉野仁吉氏以下の懇切なる說明に新興市川市の全貌を知るを得た

下水道

未だ見る可き設備なく單に同市を縱斷してゐる國道に申譯け的の側溝があるのみ

塵芥處分

燒却爐の設けなく、豫算(昭十經)二千五百三十二圓を以て一切の汚物掃除の經費とするに過ぎず、いづれも農家の肥料或は沼津地に埋立等で處分してゐる

# 性根の燒直しに 盜少年を薰陶園へ
## 親から淚の善導願

昨報—先にマルトモ其他文房具店から數回の盜みを働き平署に擧げられても性こりなく再び第一小學校松本訓導等から十數回に亘る現金泥發覺檢擧された平町材木町寄住渡邊一(一二)假名は目下留置取調べ中であるが親達の歎願もあり同署斡旋の下に近く相馬郡中村の縣立薰陶園へ收容する事になつたと

◦◦◦◦◦第一校珠算競技 平第一校では來る二十五日午後一時より尋五以上選拔兒童により珠算競技會を開くが種目は讀上算、見取算

◦◦◦◦◦篠山校長出福 篠山平第一校長は明十九日福島市教育會館に開催の思想問題研究會出席のため今十八日出福

◦◦◦◦◦飽金十餘貫を盜む 栃木縣安蘇郡生れ窃盜前科一犯廣瀨淺吉(二九)は去る二日頃內郷村磐城炭鑛より飽金十餘貫を窃取した事發覺、十八日平署に檢擧

◦◦◦◦◦盜ルンペン捕はる ルンペン秋田縣北秋田郡長木村生れ石田末吉(一九)假名—は去る五月中平町中町木炭商阿部傳平方に雇はれ中同家の加藤光雄所有の衣類十餘點(價格三十餘圓)を窃取した外郡山方面で自轉車泥、石炭代横領等十餘件の惡事を働き十八日平署に檢擧された

## 各被告服罪

植田町山田屋毆り込み事件で平支部から夫々判決を受けた懲役五年—小吹又一郎(四六)、同—山川倉藏(三〇)、同三年—鈴木末松(三三)、同二年—富岡正三(三八)の四名及び懲役四年の判決を受けた內郷綴舊正酒刃傷の佐藤丑藏(三九)は何れも此程服罪した

## 陸軍被服縫製續行

平職業紹介所斡旋の陸軍被服は着手以來二千五百個を縫製、目下明後二十日迄五百個の袴下作製に町の內儀さん十三名が大童となつてゐるが仕上り次第更に取り寄せる方針である

◦◦◦◦◦家出の夫搜索願 耶麻郡大堀村大字大堀渡邊留吉(三九)は昨年九月老母と妻子七人を殘して無斷家出したが最近昭和人絹工場に働いてゐるらしいので今十八日妻サタより平署に搜索願

◦◦◦◦◦橫着運公に罰金 平町三丁目遠藤美爾方自動車運轉手吉田淺次郎(三〇)は五月十六日午前二時頃乘用車に藝妓外一名を乘せ江名町に向ふ途中把手に故障を生じたにも拘らず疾走、豐間村地內縣道で畑中に乘入れ乘客に全治二週間の打撲傷を負はせながら申告を怠つたので此程平區より業務上過失傷害並に自動車取締令違反で略式罰金三十圓に處された

◦◦◦◦◦古物商に各五圓 錦村江栗字島搗古物商小般治拾要(四八)同勿來町窪田字上り途村斗市松(三九)の兩名は何れも記帳を怠り各罰金五圓を此程平區より略式命令

7月19日

△川中島合戰第一回(天文二四)△蛤御門の變勃發(元治元)△普佛戰爭起る(一八七〇)△米西戰爭終る(一八九九)△原宿慘劇妻と支配人兩名を有罪と認定(昭和八)

十九日（小名濱測候所調査）

日出 四、三四 月出後 八、四九
日沒 六、五二 月沒前 七、四七
滿潮 前四、四五 後七、〇〇 干潮 前— 後〇、三〇

舊六月十九日 金曜 丙申 赤口 除 鬼宿 新七月十九日

諸判定施術 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神 顯 舘

▲一白 堅實なる信念により進んで功あり短慮警戒▲二黑 他事に心を動かせば失敗に失敗を重ぬべし▲三碧 賢者の引立多大なる日忠實勤勉に宜しき日▲四綠 何事に依らず不利を招き易し新事殊に嚴禁▲六白 放縱に流れず自重して事に當れば過ち無し▲六白 盛物の行違ひを起し易く口舌を避くべし▲七赤 外に出でゝ開運生じ易し內に在るが吉▲八白 思ひ立ちし事も存外捗らず不利に陷る日▲九紫 物事滯り勝なるも努むれば後には成るべし

男女 用夏服豊富取揃

洋服は高島屋

注文並に既製品

高島屋洋服店 平町二丁目 電話三八六番

盛夏服の大賣出し

評判のよい信用堂のレデーメード

背廣服 單背廣三ッ揃（シルクポーラ）拾五圓ゟ 單背廣上下（シルクポーラ）九圓五拾錢ゟ 背廣上衣折衿（紺黑セル）四圓五拾錢ゟ

立衿 白グラニット折衿上下 五圓ゟ

上衣 紺黑セル上衣—參圓五拾錢ゟ、白チョッキ—一圓四拾錢ゟ 白ズボン—七拾五錢 白セルズボン—二圓六拾錢ゟ

婦人ホームドレス又男女ベビー服へ特賣中 ホームドレス一圓より、小供ベビー服十五錢より 男小供カッター上衣四拾錢より、外豊富に取揃へて有りますから御散歩がてら一度信用堂へ御立寄り下さい。

お電話が有り次第御屆け御覽に入れます。

洋服の御用命は 信用堂へ 平町三丁目 電話六一三番